



KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY
OFFICE OF THE PRESIDENT

UEGAHARA NISHINOMIYA 662-8501 JAPAN

Phone +81-798-54-6100

Facsimile +81-798-53-3324

宣誓書

関西学院大学は人権、労働基準、環境、腐敗防止に関するグローバル・コンパクト(GC)の 10 の原則を支持することを確認いたします。

私どもは、本学の影響力の及ぶ範囲内でできる限り、GCの10原則を促進していく所存でございます。また、GC およびその 10 原則を弊団体の戦略、文化および日々の業務の一部にしていくことと、持続可能な開発のための 2030 アジェンダ(SDGs)達成のための取り組み等にも関わることを約束します。また、このような私どもの GC に対するコミットメントをステークホルダーおよび公に対して明言いたします。

なお、会員として得られた他社・団体に関する情報を第三者に漏洩しないことをお約束します。

2016年1月14日

関西学院大学

学長

村田 治

村田 治

関西学院大学における国連グローバル・コンパクトに関する取組について

1. 国連グローバル・コンパクトの10原則に関する取組

(1) 人権問題研修会の開催（原則1、原則2）

本学では、1948年に国連で採択された世界人権宣言の精神に基づき、1995年4月に人権教育研究室を設置し、人権教育・研究活動の整備を行ってきました。「人権」の立場からあらゆる差別の問題の解消を目指して、研究誌『関西学院大学 人権研究』や『KG 人権ブックレット』の発行、定例研究会の開催および人権教育科目の開講や、毎年春学期と秋学期（12月の人権週間中心）に開催される人権問題講演会や人権問題についての啓発プログラムの企画を行っています。

2014年4月～2015年9月の間に開催した人権問題講演会は以下のとおりです。本講演会の開催により、参加した本学教職員および学生の人権意識を高めると共に、共生・多様性への理解を涵養しました。

【人権問題講演会】

■ 2014年度 春季開催

2014. 6. 18：「国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の働きを覚えて

～今日の世界におけるその使命と活動の実際～」

マイケル・リンデンバウアー氏（国連難民高等弁務官駐日事務所代表）

2014. 6. 19：「平等への闘い：LGBT 権利の過去と現在」

パトリック・ジョセフ・リネハン氏（大阪・神戸アメリカ総領事館総領事）

2014. 6. 20：「LGBT と人権」

南 和行 氏（弁護士）

■ 2014年度 秋季開催

2014. 11. 10～11. 13：映画上映『SAYAMA みえない手錠をはずすまで』

2014. 12. 4：「ヘイト・スピーチと差別禁止法 ～世界に問われた日本のヘイト・スピーチ～」

丹羽 雅雄 氏（弁護士）

■ 2015年度 春季開催

2015. 6. 10～12：「誰も排除されない社会をめざして

～ひとりひとりを大切にするダイバーシティ社会とは？～」

田村 太郎氏（一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事）

2015. 7. 8：「ハンセン病 ～今わたしたちにできること」

金 正美氏（字幕制作ディレクター、エッセイスト）

(2) 男女共同参画推進事業の実施（原則6）

本学は、社会の男女共同参画の実現に率先して主体的役割を果たしていくことを目的として、2012年に男女共同参画宣言、および関西大学・同志社大学・立命館大学との4大学共同宣言を採択しました。この宣言に基づき、2013年度4月に学院に男女共同参画推進本部を設置し、全体の男女共同参画を推進しています。

2014年度には神戸大学、兵庫県立大学とともに文部科学省科学技術人材育成費補助事業「**女性研究者研究活動支援事業（連携型）**」の採択を受け、女性研究者支援のための環境整備に取り組んでいる本学も共同実施機関となりました。本事業は、3大学は互いに連携することにより、女性研究者の研究力・マネジメント力を増強させ、女性研究者の上位職への登用を進めるものです。また、企業と連携をはかることにより、産学共同研究の促進や女子学生および女性研究者のキャリアパスの拡大を目指しています。

また、出産・育児に伴い研究時間が確保しにくい女性専任教員（任期制教員・博士研究員を含む）が継続的に研究を行うことができるよう、当該教員に代わって研究を行う支援者を雇用することができる「ピンチヒッター制度」を設けています。2014 年度には全学でのべ 7 名、のべ 716 時間利用されました。今後、子育て中の男性や介護者にも拡張できるよう、検証していく予定です。

2. 国連グローバル・コンパクトとその原則の推進活動

(1) 国連グローバル・コンパクト支援関西学院大学センターの設置

本学は 2014 年度に文部科学省スーパーグローバル大学創成支援事業に採択された「国際性豊かな学術交流の母港『グローバル・アカデミック・ポート』の構築」の一環として、「国連・国際機関へのゲートウェイ」構想を掲げ、2015 年 10 月 24 日に「国連グローバル・コンパクト支援関西学院大学センター」を設置しました。本センターは、国連グローバル・コンパクト及び国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンのメンバーとして、ネットワークとの連携を強化し、その活動の展開を主に西日本において支援することを目的としています。

(2) 「日中韓ラウンドテーブル」への学生派遣

本学は上記センターの活動の一環として、国連グローバル・コンパクト主催の「日中韓ラウンドテーブル」（2015 年 10 月 28 日～30 日、韓国・ソウル開催）に本学学生 1 名を派遣しました。

この派遣を通じて、学生が日中韓の企業・アカデミアからの参加者および学生と交流を図り、CSR について共に考え発信する機会として活用できるよう図っています。今後も本プログラムへの派遣を通して、学生が将来 CSR 活動を支えるプレ社会人として、グローバルな視点を身に付けるよう働きかけていきます。

以上